

睡眠障害は多くの透析患者さんが日常的に抱える愁訴の一つでありながら、その臨床的意義は十分に認識されていないのが現状です。近年の研究により、睡眠障害が生活の質を損なうだけでなく、慢性炎症や心血管疾患を介して生命予後にも深く関与することが明らかになってきました。本特集では、この重要かつ身近な課題を、基礎的理解から最新の治療戦略に至るまで多角的に取り上げ、臨床現場で役立つ視点を目指しました。

前半の「睡眠障害」の項では、透析患者における高い有病率と生命予後への影響について概説していただきました。腎不全に特有の病態や睡眠衛生の問題を整理し、さらにポリソムノグラフィやアクチグラフといった客観的評価法、質問票による主観的評価法の意義が紹介されています。治療の面では、まず非

薬物療法を基盤とし、安全性に配慮した薬物療法を適切に位置づける必要性が強調されています。

後半の「睡眠関連呼吸障害群」の項では、疫学や予後に関する知見に加え、体液過剰や透析スケジュールといった特徴的なリスク因子が示されました。診断の実際や標準治療である CPAP の適応と効果について詳述されるとともに、診断から治療継続に至るプロセスを支える多職種連携の重要性について、具体例を交えて提示していただきました。

本特集が、患者さんの「眠り」に改めて光を当て、日々の診療での積極的な介入と、ひいては生命予後の改善につながる実践の一助となれば幸いです。

(鶴屋和彦)

2025 年 (Vol. 41) 特集のご案内

- | | |
|-----------------------------------|---|
| No.① 透析患者の糖尿病治療—2025 | No.⑧ 定期検査&結果の評価と対応〔増刊号〕 |
| No.② 透析患者の皮膚を守る カラーでみる | No.⑨ 透析患者のカリウム管理 |
| No.③ 透析患者の骨粗鬆症と骨折を理解する | No.⑩ 最新動向 透析患者の呼吸器感染症／新規リン低下薬テナパノル症例集—使い方、副作用への対処 |
| No.④ 長期透析の現況・課題と対策 | No.⑪ 睡眠障害、睡眠関連呼吸障害群 |
| No.⑤ 多職種連携による在宅透析医療—コメディカルの役割 | No.⑫ 良好なバスキュラーアクセスを作製・維持するために |
| No.⑥ 透析患者の泌尿器科疾患に対応する—泌尿器科専門医との連携 | No.⑬ 透析患者の口腔合併症と口腔ケア |
| No.⑦ 透析患者の心臓病のすべて—インターベンションを中心に | |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.41 No.11

© 2025 年 10 月 10 日発行

定価：2,860 円

(本体 2,600 円 + 税 10%)

- ・ 2026 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊, 税込)
冊子版 39,050 円
電子版 (個人のみ) 39,050 円
冊子版 + 電子版 (個人のみ) 44,550 円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2025, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541